

# MF 台北 2019

## 参加記



2019/6/7 (金) -2019/6/9 (日)

花博公園

飛行機とか近いし いろんなものが

# 台北は早い安いうまい。みんな知ってるね。

いろんなものが





## この本について

本書は2019年6月7日（金）～9（日）にかけ台北の花博公園で開催されたマジック・ザ・ギャザリングのイベントであるマジックフェスト（MF台北2019）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。

現地の金額表記は元（ニュー台湾ドル、NT）で行いました。為替レートは1元=3.5円くらいだったようです。

## MF台北2019について

MF（MagicFest）というのは1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に4回ほど開催されます。MF台北2019（※1）は、台北で2019年に開催された大会ということになります。主催はChannel Fireball（※2）であり会場は花博公園（※3）でした。

去年まではこのイベントは「GP（グランプリ）」と呼ばれていましたが、今年からは「GP」というのは「本戦」のみを指し、イベント全体は「MF」と呼称するようになりましたので、本書の主旨からは「MF」とすることにします。

※1 <https://www.pandaevents.cn/detail.php?city=GP%20Taipei>

※2 <http://store.channelfireball.com/>

※3 <http://www.enexpopark.taipei/index.aspx>

## チケット二重買い

もとより「近い早い安い楽しい」が揃っている台北には行くことは決めていたので、

2018年の10月5日に「2019年のMF予定」が発表されるなり安い便を調べ、その結果10月16日のスクート（※1）で総額28438円の便（帰り荷物増量あり）のプランがあったのでぼちりました。

そして楽しいリール旅行を終えたり再就職も始まってばたばたしていた11月8日、ふとスクールのセールで翌年10月のバンコク行きの便をぼちると同時に、台北合わせの便が総額23207円の出物があったことにも気が付いたので、**すでに注文していたのを忘れて**ぼちってしまいました…やっちまった。

そしてセール品なだけにキャンセル返金不可。しかしサイトでの「名義変更は1万円」の記述を見て「んー、もう1万円出して女房も連れてくか」と思うも、あまり本人が行きたそうでもありません（まあ異国で放置することになるし）。「ではGW明けあたりに台北行きの便が3万円では買えなくなった頃に誰かに3万円で売りつければ、1万円くらいの損で済むかな」と思ってしばらく寝かせておくことにしました。

しかしながら台北行きまであと一か月になったGW明けでも、スクートはもとより、まだあちこちのLCCでMF台北合わせの航空券は3万円で購入できました（笑）。

そしてようやく5月下旬に3万円では買えなくなった頃を見計らって「誰か3万円を買わない？（交渉可）」と公募するも誰も現れません。というか一週間くらい前に、サイトで確認したら以前あった筈の「名義変更は1万円」の記述がないことに気がついて、慌てて取り消します。結局、今回のフライトは総額51645円の、台北にしてはだいぶお高めの旅になってしまいました。宿のほうは前回も利用したInn Cube（※2）を、4泊で購入。

教訓：同じチケットを2枚買うのはやめよう（あたりまえ過ぎて、何の教訓にもなっていませんが）。

※1 <https://www.flyscoot.com/jp/>

※2 <https://www.booking.com/hotel/tw/pin-ge-zi-lu-dian-min-guan-guan-inn-cube-minquan.ja.html>

## 2019年6月6日（木） 台北へ

会社を15時半に早退し、サポートに来てくれた女房と品川駅で合流して着替えて荷物を受け取る。16時過ぎの成田アクセス特急に無事に乗車して、17時半過ぎに空港第2ビル駅に到着。スクートのカウンターはもう空いていたので並び、17時50分には発券終了。

フライトまではまだ2時間以上ある。ひとつ今回は成田空港のカードラウンジを利用してみようとニコスUFJのゴールドカードを取得していたので、期待しつつIASSエグゼクティブカードラウンジを探し、入る。

…そうか。しょせん年会費2千円のカードで入れるラウンジ。まあ、椅子と電源とフリードリンクはあるが。

東横インの朝食程度の軽食は期待して、あるいは夕食をここでとも思ったのだが甘かった。

腹にたまるのはおつまみの**柿ピー**のみ

（笑）。仕方ないのでジュースを一杯飲んで

ラウンジを出て夕食へ。結局は、夕食はマクドナルドで済ませることにした。下界と同じ値段で食べられるから、別にこれでいいや。



18時半にセキュリティに向かい、10分後にはイミグレも通過してほどなくゲート前へ。機内でこっそり飲むための飲料とおつまみを買って、待つ20時前に搭乗。滑走路が混んでいて30分の遅れなどもあったが、何ごともなく日付が変わる頃に台北桃園空港に到着。

1時間の時差があるので台北では23時半（ここからは台北時間で書きます）。

あらかじめアマゾンで買っておいたSIMをアクティベートし普通に通信開始。

10分くらい滑走路でゆるゆるしたりしつつ0時過ぎに降りる。

機を降りるときに何やら通過パスを手渡されたが、果たしてそのまま歩くと、イミグレの前で係員が回収していたので渡してイミグレへ。

深夜なのに 100 人は居たイミグレの手続きを 30 分くらいでやっと終えて、地下のバス停へ。いつもの国光客運のバスのチケット 140 元を買い、荷物を預けて零時半に乗車。

自分の宿は台北駅より北にあり、このバスは台北市北西から市内に入って南下するので、これ台北駅まで行くより市内で降りたほうが宿に近いじゃん、と途中で気がついたので他の客の関係で停止した際に下車を試みたものの、空港で預けた台北駅までの荷物の奥に自分のバッグがあったので断念。結局そのまま台北駅まで南下して 1 時 10 分に下車。客待ちのタクシーを拾いホテルまで移動し、120 元支払って終了。1 時半にはチェックインして自分の部屋へ。ふー。



手前に旅行鞆を置いたらドアを開ける際につかえてしまうくらいに狭い小部屋だが、まあ基本は寝るだけだし机に PC を置いてベッドに座って日記も書ける。不満なし。

荷物を置いてとりあえずコンビニへ。飲料 2 本とおにぎり 1 個とポテチ 2 袋を 123 元（袋代 3 元）で買って戻り共用スペースでおにぎりを食べる（部屋の飲食禁止）。

シャワーを浴びて PC を接続し無料 Wifi の質など確認する（とてもいい感じ）。

TV チェックをするがアダルト無料放送はないのですぐに切る（NHK とかあったが）。冷房がキンキンでやや寒かったものの冷風は天井の穴から出ていて部屋から調節できないようだったのでフロントに行って「少し気温上げて」と依頼し、2 時半に就寝。

## 2019年6月7日（金） 会場前の飯屋で朝食

7時半に起床。外で雨音も聞こえたので、のんびり支度をして8時半に宿を出ます。雨はあがっていたので遊歩道をてくてく北上しつつ、ほどなく圓山駅前へ到着。

その前に朝食にすべく会場前の食事処に入る。

漢字だけのメニューと格闘しつつ、アメリカン朝食と書いてあるらしいものを70円で頼む。

少ししてでん、と冷たいミルクティーが出たので飲むものの次が来ない。ここで「もしかしてこのドリンクだけか？」と思って壁を見ると、写真付きで「カレーライス110元」があったためにままよとばかりに追加オーダーをしてしまう。

しかしそれから少ししてチョコの塗ってあるトーストと卵とベーコンとポテトが届いた。

しまったー！ しかしまあ、おいしいね。とりあえず朝食ならこれだけで良かったな。



そして少ししてカレー到着。こちらはまろやかな、

辛くない**給食みたいな味。**

これもこれでアリだけど、明らかに2品は頼みすぎたよねえ。頑張って完食し満腹し、店を出る。

## メガLCTシールド

店の目の前が会場なので、9時20分には会場入り。

10時半からのメガラストチャンス・トライアルシールドには申込済なので、ゆるゆる待って参加。

緑がお通夜だったので神様を捨てて青赤タッチ黒で。

いい感じのデッキになった。固定4回戦。さてどうなるかな。

《古呪》
《ブリキ通りの重鎮、クレンコ》
《永遠神ロナス》
《永遠神の投入》
《時の一掃》
《総動員地区》

取りレア

### Creatures: 13

《不気味な修練者》  
《空戦域の大梟》\*2  
《流束の媒介者》  
《ブリキ通りの重鎮、クレンコ》  
《怒り狂うクロンチ》  
《鉄の暴漢》  
《救出のスフィンクス》  
《雷のドレイク》  
《戦慄衆の双子》  
《ゴブリンの突撃隊》  
《鎖鞭のサイクロプス》  
《侵略するマンティコア》

### Spells: 11

《灯の収穫》  
《チャンドラの螺旋炎》  
《チャンドラの勝利》  
《ヤヤの挨拶》  
《ギルド球》  
《密かな任務》  
《オブ・ニクシリスの残虐》  
《洞察の絆》  
《ラルの発露》\*2  
《永遠神の投入》

### Lands: 16

《島》\*7  
《沼》\*2  
《山》\*7

### Sideboard:

なし

構築デッキ

### Round1 NO SHOW

なぜか100人くらいはノーショーがいたのではないのでしょうか。

よく分からないが、勝ちも勝ち。

### Round2 Chungさん OO

3ターン目にクレンコが出たり、ぶんまわって勝ち。

### Round3 Grengさん OO

3ターン目にクレンコが出たり、ぶんまわって勝ち。

クレンコを即座に除去できなかった相手が2/3になるクレンコをせめて打ち取るべく防御

展開したところで、こちらは4ターン目に《密かな任務》を唱えてクレンコに+1/+1を2個乗せて殴り、この結果としてクレンコは4/5で殴ってゴブリンが4体。次に5/6で殴ったところを打ち取られてもゴブリンがさらに5体出るうえ、それをバットリでさらに守りつつ打ち取ったり。さすがに相手は投了とか、そんなんばっか。

## Round4 トス

3-0からの4回戦は、勝っても負けても300チケ。そして自分は2BYEはいらない。そこで最初に「2BYE 必要ですか？」と聞くと相手が「はい」と言ってきたので、自分はいっこり笑って「そうですか。自分はもう2BYEはあるので勝ちを譲りますが、何チケをいただけますか？」と交渉開始。相手が「半々150チケでどうでしょう」と言ってきたので、欲を出して突っぱねることもなく即応。

サインして2人でプライズを受け取りに行くと、100チケ3枚ずつを渡される。50チケ2枚にならないの？と聞いたら「ない」とのことだが、20チケ5枚と替えてくれたのでまずは2枚を受け取り、相手が「ではこれをブースター2パックに替えて」と言ってきたもののこの際「OKそれはプレゼントするよ」と言ってにこやかに別れて終了。

というわけでまずは440チケをゲット。幸先いいな！

## 空き時間に買い物など

メガLCTのラウンドの合間にバイヤーブースをぶらぶら。以前に萌えトークンを出していた所が微エロトークンを出していたので2枚ほど捕獲。この程度ならOKかもしれないものの、ジャッジによっては使用を禁止されるかもなあ



(以前に bolze.さんライフメモもジャッジからクレームが来たこともありました)。

またブースによっては「灯争大戦」の日本独自絵のカードを並べて売っている所もあり。しかも値段を見ると、それほど日本より高値をつけているわけでもなさそうです。今回、対戦プレイヤーに配ろうと多めに持ってきた日本絵カードをあるいはバイヤーに売るか、とも思っていたのですが、ここに至って売却は断念（笑）。

また明日のスタン本戦デッキは、実は2色土地の《蒸気孔》をもう1枚入れようかとも思っていて（自宅から発掘できず）見送っていたのですが「この際だからまた買うか」と思って450元出して購入。今夜、提出済のデッキリストを修正しなくちゃね…。

## 本戦受付と焼き鳥

昼になるとプライズウォールに今回のナーセットプレイマットが並んだので「お、来たな」と思いつつ受付。

プレイマットと一式袋を受け取ります。袋には稲妻のフォイルやデッキケーススリーブに加えて、サイドイベントの200元の割引券が3枚。を、こりゃあ割とお値打ちですねえ。使い切ろう。



朝食を二食分食べても、やはり小腹がすいたので青果市場へ移動。

青果市場はやっていなかったものの、近くに屋台が出ていたので鶏の串焼き1本40元。うん、おいしいです。

日式醤油とあるけど、味付けは割合と台湾風じゃないかな？いいけど。

## マジック漫画を受け渡し

さらに会場に居る劉玄さんと連絡をつけて、ラウンド待ち時間に合流します。日本でも大人気の、マジック歴史改変漫画の「すべての人類を破壊する。それらは再生できない」第1巻（プロモつき）を日本で購入し劉玄さんにそれを渡す段取りをつけていたためです。日本にもしばしば来る劉玄さんから千円札を受け取り、100元くらいをお釣りに渡します。ついでに灯争大戦おまけの天野リリアナのイラストもあげました（少し折れていたのですが）。



なお劉玄さんのお友達も、もしかしたら実物を見たら欲しがるかもしれないと思い台湾行きの荷物には余分に日本で購入したこのコミックスを入れておいたのですが、それはなかったようなのでそのまま持ち帰ることになりました。

## 灯争大戦ドラフト ポッド4

メガLCTシールドを終えると14時40分。サイドイベントのシールド2は14時からでシールド3は18時から。これはドラフトやるしかないなあ、ということでエントリー。さっそく100元割引券を1枚使い、550元を支払って待つ。

《パルヘリオンⅡ》  
《高名な弁護士、トミク》  
《終局の始まり》  
《魂の占者》  
《時の一掃》

取りレア

《終局の始まり》から入って青白で構築。そんなに悪いデッキではなかったとは思いますが、回らず勝てなかったのでは仕方ありません。人間相手に1勝もできなかったのでデッキは記録しません。

## モバイルバッテリーがピンチ

今回の旅行前に、それまで使っていたダンボのモバイルバッテリーが行方不明になっていたので、やむなく以前に香港エクスプレスから貰った小型モバイルバッテリーを持参。なのですが、この頃には早くも容量がなくなっていたようで、スマホを見たら電源が尽きかけていて充電されません。やむなくスマホの電源を落とします。

そこで会場の日本人ジャッジに声をかけ控室の充電場所を貸してくれないかと頼むことにしたところ、ナカジマさんが自分のモバイルバッテリーを貸してくれました。多謝。

さらにさっき得たチケットのうち200チケを使いTシャツを1枚ゲット。10チケの灯争大戦の中文パックを仮に200円であるとしても、4千円はするTシャツ。ちとお高くも感じないこともなかったものの、まあ縁起物ですし他に手が届く手頃なアイテムがありません。そうこうするうちに、17時にエントリーしておいた18時シールドの時間になりました。



## 灯争大戦シールド3

固定3回戦。参加者8名でからくも成立。

さてレアチェックは…トップレアのリリアナさんが来たか。今日の引きはいいなあ。

これが日本語パックだったら1/2の確率で天野絵だったのに残念！（ぜいたく）

デッキのほうは赤緑タッチ黒で構成。

さて、どうなるかなー。

《永遠の終焉》  
《戦慄衆の侵略》  
《戦慄衆の将軍、リリアナ》  
《野獣の擁護者、ビビアン》  
《ポーラスの壊乱者、ドムリ》  
《嵐の伝導者、ラル》  
《狼の友、トルシミール》(フォイル)

取りレア

**Creatures: 15**

《燃え立つ預言者》\*3  
 《クロンチの世話人》  
 《楽園のドルイド》  
 《呪文喰いの奇魔》  
 《アーリンの狼》  
 《進化の賢者》  
 《鉄の暴漢》  
 《ケンタウルスの養育者》\*2  
 《忠実な相棒、モーウー》  
 《挑戦するトロール》  
 《轟く角獣》  
 《護法鱗のクロコダイル》

**Spells: 10**

《戦慄衆の侵略》  
 《リリアナの勝利》  
 《ヤヤの挨拶》  
 《オブ・ニクシリスの残虐》  
 《野獣の擁護者、ビビアン》  
 《ポーラスの壊乱者、ドムリ》  
 《戦慄衆の将軍、リリアナ》

**Lands: 16**

《沼》\*2  
 《山》\*7  
 《森》\*7

**Sideboard:**

なし

**Round1 Liさん 黒赤緑 OO**

構築デッキ

回って勝ち。

**Round2 Matteuさん 白黒緑 OO**

回って勝ち。

**Round3 ID**

結果、さらに 200 チケを獲得して終了。

いやあ、今日はツイてたなあ。

合計でなんと 660 チケ。

ラウンドの間に屋台で 40 元の練り物を食べ空腹を紛らわせたりしていたものの（炒めた肉野菜が入っていて、おいしかったです）、これでどうやら本格的な夕食に行けそうです。さ、次は士林夜市ですよ！



## 士林夜市

20時過ぎに会場を離脱し、圓山駅で残高がマイナスだったイージーカードに1000円をチャージして改札へ。一駅北（でも歩くには遠い）の剣山駅で下車して徒歩で北上。あとはいつもの通りにぶらぶらします。

あからさまに日本人向けの「令和」Tシャツを売っていたので寝間着代わりに買うかとも思ったものの「値段はともかく、上野や秋葉原で同じものが買えそうだな」と思って見送り。結局、今夜はTシャツは買いませんでした。



## 地下美食街



そしてやはり夕食は地下美食街でしようと思って、階段を下ります。

一回りしたすえ何度か利用したことのある中華料理ブースに着席。



無闇にカネをかけても仕方ないので、まずはB級グルメの定番である魯肉飯を30円。しみじみおいしい。



さらに臭豆腐もつまんでおくかと 50 元。台湾に来たら一度は口にすることにして、臭豆腐だけど、ちょっと量があり、ぶつ切りキャベツも大きく硬くて咀嚼に苦労するし、だぼだぼソースはすっぱいなので半分くらい残しました。

そもそも、やはり基本は数名で囲んでの色々つまみたい中華料理。

さらにかき氷屋に入り、マンゴー綿綿氷 160 元を投入。

こちらは最初から 1 人で食べるには割と巨大サイズですが、頑張って完食。

(比較にカードサイズのスリーブ)



あとは会社土産のパイナップルケーキを買ったり、麻雀ビンゴをしたりして 22 時過ぎに士林夜市を離脱。新鮮味はもうありませんが、まあまあ楽しかったです。

## 金曜終了

MRT で剣山駅から民権西路駅に戻り、コンビニに寄ってから 23 時過ぎに宿に戻り、共同シャワーを浴びさっぱり。そして修正したデッキリストをオンライン提出するも、ID を入れても以前に提出したリストがロードされず最初から全部入れ直しという仕様に唖然。

そもそもオンラインなのに**零時を回ると提出できない**謎の仕様。

さすがにサーバー回りはもう少し何とかしてほしいと思いますよパンダさん。

あとは今日のマジック日記をつけて、1 時過ぎに就寝。

## 2019年6月8日（土） モバイルバッテリー調達

8時半に起床。

今日は2BYEつき本戦が11時からですが、会場で支障なく過ごすためにやはりモバイルバッテリーを入手すべきだなという結論になったので、グーグルマップで近くの電器屋を探すと、ありました。このため宿を出て東に向かい、ついでに朝食にします。

目指す電気屋の近くに Sabrina House というイタリア料理店があり、レビューも高評価だったので行ってみました。モーニングを注文。アメリカンコーヒーとメキシカンビーフオムレツで270元。



台北では結構なお値打ち朝食ですが、シアトルならこの倍はするよねと思いません。考えないことにします。

料理はおいしく、オムレツも結構厚くここちよくほどよい満腹。

サービス料込みで297円で終了。

電器屋に寄りモバイルバッテリーを購入。

容量 18000Ah の奴ですが 880 元。

うーん、多分「希望小売価格」のままの値段だが選択肢はないので購入。とほほ。

てくてく歩いて 10 時過ぎに会場入り。

すでに本戦は始まっています。やっぱりスリープインはいいな！



## GP 本戦 初日

とりあえず 300 チケでナーセットのプレイマットを 2 枚確保。まあ、今年の年末にやる「関東リミッツ 2019」の賞品にしましょうか。

そして昼前にいよいよ本戦 3 回戦の開始です。

<b>Creatures: 4</b> 《流束の媒介者》 《永遠神ケフネト》*3	<b>Spells: 11</b> 《一瞬》*2 《焦熱の連続砲撃》*3 《ヤヤの焼身猛火》*3 《幻惑の旋律》*2 《川の叱責》	<b>Sideboard: 15</b> 《流束の媒介者》 《夢を引き裂く者、アショク》*3 《支配の片腕、ドビン》*3 《否認》*4 《一瞬》 《焦熱の連続砲撃》 《ヤヤの焼身猛火》 《川の叱責》
<b>Plainswalkers: 21</b> 《覆いを割く者、ナーセット》*4 《夢を引き裂く者、アショク》 《支配の片腕、ドビン》 《崇高な工匠、サヒーリ》*4 《神秘を操る者、ジエイヌ》 《謎めいた指導者、カズミナ》*3 《炎の職工、チャンドラ》*4 《主無き者、サルカン》*2 《人知を超えるもの、ウギン》	<b>Lands: 24</b> 《硫黄の滝》*2 《蒸気孔》*2 《次元間の標》*4 《島》*8 《山》*8	

構築デッキ

Round1 BYE

Round2 BYE

Round3 サイジョウさん 青赤 O××

G1 回って勝ち。

G2 サイドインされた向こうの《軍勢の戦親分》が回りこちらは《焦熱の連続砲撃》を引かずに流せず負け。

G3 回らず負け。

相性はそれほど悪くないはずの相手だったんだけど、向こうだけナーセットが着地するわ、2点全体火力を引かないわで、ちかたないね。こちらのナーセットが早々に着地したら、ずいぶん展開は違ったとも思うんだけど。

対戦中に、横でみらこーさんの大声。来てたのか。高橋プロと立ち話をしていた。横には増田さんもいた。

ハンスに「日本人は何人？」と聞いたら「**半数以上**」と言われた。マジなのか。

その後、参加人数は1088人、うち日本人276名であることが判明したので、ハンスはずいぶん盛っていたことが判明しました（笑）。

## 死のジャッジキルゲーム

### Round4 アサイさん 白青黒 ××

まるでダメダメ。やはり次でドロップしてMCQシールドでいいかな。

たとえ本戦はPWP倍率が8倍だろうと、勝てなければ獲得ポイントはゼロだ。

こちらにナーセットが着地しているのに相手が《時を解す者、テフェリー》を出します。

「ナーセットが居るとテフェリーでも引けませんから強いですよナーセット」とか雑談していたら、相手が-3能力を起動して自分のエンチャントを戻して（そういうデッキでした）からドロ。「あ。」と思うも仕方ないのでジャッジコール。

相手は引いたカードをすでに手札に入れてしまっていたのでジャッジの裁定で手札を見せて貰ったら《古呪》を持っていたのでこれを落とさせて貰いシャッフル。

しかしその次のゲームで、相手がナーセットを出しているのに、今度は自分がカスミナを出して能力を起動してしまって、隣の人から指摘されてジャッジコール。あ。

相手はその前にこちらの手札を覗いていたので引いたカードは特定できものの、引けないのに1枚捨てる羽目になったのマジでキツイですわ。とほほー。

互いにナーセットのせいでジャッジを呼びあう死のジャッジキルゲーム。

ふと結果報告用紙を見たら、さっき対応したジャッジが相手の違反を記録しておらず、自分の違反だけが記録されていました。ジャッジの顔を覚えていたら説教案件だったと思いました（覚えていません）。

## ドロップと昼食

トイレで大を使おうと思ったら、4個の洋式が満室で10個の和式が空いてる。マジ和式トイレは悪い文明。亡びるべき。

そろそろ14時になるので5回戦終了を待たずにMCQシールドにエントリー。200元の割引券はMCQには使えず2100元。割といいお値段。ひょー。

### Round5 Haoさん 白青赤 ××

まるでダメダメ。書きたいことも特にない展開。

予定通りドロップ。これで僕のGP台北の本戦は終了。

15時からのMCQシールドの前に青果市に移動して軽く昼食をつまむことにします。

海老や魚の白身の揚げ物3種アソートで50元。

うんおいしいですmgmg。

その後、大道芸を見たりするうちに15時になったので会場に戻ります。



## MCQ シールド

15時過ぎにMCQ (Mythic Championship Qualifier) シールド戦の構築のためのデッキリストが張り出され、ほどなく開始。ヘッドジャッジは口コ。

MCQでは中文版でなく英語版の「灯争大戦」のパックが選ばたので「英語版を希望するひと」とアナウンスされたら、半分は中国人・台湾人と思われるのにほとんどの人が拳手して苦笑。その後「中文版を希望するひと」と切り替えて対応していました。

参加者は82名のようなのでね。トップ4であれば決勝ドラフトに進出できます。

まずはレアチェック。

ま、こりゃどう見ても青緑でしょ、と思って組んでみたら低mana域の生物が足りなくてデッキにならない。やむなく白緑タッチ青で。どうかなー。

《神秘を操る者、ジェイス》  
《ナーセットの逆転》  
《灯の分身》  
《ヴィトウ＝ガジーの目覚め》  
《混種の頂点、ロアレスク》  
《総動員地区》

取りレア

**Creatures: 17**

《法ルーンの執行官》  
《目的のための殉教者》  
《ファートルの猛竜》 \* 2  
《プリズマイト》  
《立ち上がる民衆》  
《テヨの光盾》  
《信頼あるペガサス》 \* 2  
《鉄の暴漢》  
《精鋭護衛魔道士》  
《永遠衆の天空王》 \* 2  
《ヴィトウ＝ガジーの目覚め》  
《護法鱗のクロコダイル》  
《混種の頂点、ロアレスク》  
《ウギンの召喚体》

**Spells: 8**

《巨大化》  
《無神経な放逐》  
《連帯》 \* 2  
《mana晶洞石》  
《謎めいた指導者、カズミナ》  
《焦熱の連続砲撃》  
《放浪者の一撃》  
《死者の災厄、ケイヤ》

**Lands: 16**

《ギルド門通りの公有地》  
《平地》 \* 8  
《島》  
《森》 \* 6

構築デッキ

開始時のアナウンスで、ナカジマさんが日本語でのアナウンスも加えたのに笑った。まあ日本人は相当含まれているけど。しかしMCQをLCTと言い間違えたのはいただけません。しかも2回も。そんなことでは次期エグザンプラーの推薦は出せん！（えらそう）。

**Round 1 イシイさん 青黒緑 ××**

G1 平地2枚でキープしたら平地1枚だけを引いて止まった。終了。

G2 なかなか青manaが出ずに膠着し続け、やっと青manaを引いたのでロアレスクを出し大型を含めて殴りつつ10点以上の打点を出してドヤるも、場とライフ計算をミスって返してバトリもない相手にフルパンされて死亡。いや、ただのあほだろ。

ここで勝てても3本目を取れたかどうかはともかく、負けなくても良いゲームを落としたのは痛すぎる。そして初戦負けの時点で、82名5回戦でのトップ4は無理。プライズが出るのは7点からなので、3敗即ドロップでいいだろうな…。

### **Round2 Hugさん 青黒緑 ×OO**

- G1 事故負け。
- G2 ヴイトウ=ガジーが目覚めて勝ち。
- G3 まあ勝ち。

### **Round3 Linさん 青赤 ×OO**

- G1 青マナが出ず手札5枚が青絡みになって終了。
- G2 ヴイトウ=ガジーが目覚めて勝ち。
- G3 まあ勝ち。

### **Round4 Leeさん 白青緑 O××**

- G1 ブン回って勝ち。
- G2 相手は先手マリガン。勝ったかな、と思ったら3枚目の土地を引かず終了。
- G3 またしても青マナが出ず終了。ここは勝ちたかったのでやや痛恨の負け。

20時半。4回戦終了の時点での順位は2-2の44位。まあそんなもんだろうなあ。

### **Round5 ID**

相手と合意できたので速攻で結果登録用紙にサインをして2人で50チケを貰いに行くが、結果登録用紙を受け取るジャッジが50チケになるようにチケットを用意しておらずに、少し待たされる。段取りわりーぞ口口（お腹がすいたので苛立ってます）。

50チケを受け取ったのでただちに会場離脱して21時。ともあれこれでMF2日目は終了さ、明日も楽しみますよ！

## 林森北路

今日は早めに離脱して土曜は21時までやっている園田健一の原画展に行きたかったのですが、もう間に合いません。MCQは15時開始だから行けるかとも思ったんだけどなー。とりあえず夕食を考えつつ大通りを徒歩でホテルまで南下するも、ピンとくるものがないのでホテルで荷物をおろします。

まだ林森北路でやっているウナギ屋に間に合うか、とも思ってホテルを出て東へつらつら歩く。しかし22時前に着いた店は、目の前でしまった。ちっ。

さすがに腹が減ったので林森北路をうろうろして、22時半にまだやっている中華を発見。

麻婆豆腐と大根の卵焼きと  
コーラ。場所柄だけに440元。  
この内容では高いと思う。

大根卵焼きはおいしいが麻婆豆腐は辛さも足りずいまいち。積極的に食べたい味でもない  
ので、この際なので残して出る。



腹も満ちてここは夜の林森北路だ。さあ風俗だ。宿に戻るべく歩くと、足裏マッサージの店を発見。足裏とボディで70分1000元。まあいいか。

1時間3500円ってそれほど安くもないよなあ、とも思ったが施術して10秒で快感にうちふるえる。いややはり入って正解。

日付が変わる頃にマッサージを終え、タクシーを拾い宿に戻る。

宿の近くのコンビニの前でおろして貰って、飲み物を補給して部屋に戻り、シャワーを浴びて日記を書いて、1時半には就寝。

## 2019年6月9日（日） 宿の評価

6時半。寝ていても良いのだが目が覚めてしまう。起きて歯を磨いたり今夜と明日の計画をたてたり。しかしこの宿はやはり4泊1万円なら悪くないな。シャワートイレは共用であり、空調が自分で設定できない問題（だいぶ寒い）はあるが総じて満足。特にポイントが高いのはトイレが温水のシャワートイレである点で、肛門が厳しくなりがちな台北ではこれはよろしい。うんこまみれのペーパーをゴミ箱にいくつも放り込むのも嫌だし。

会場が花博公園だったら次もここにしよう。

自分が利用する個室エリアはシャワートイレもある共用区画のすぐ近くなので、あんまり気になりません（今回の自分の部屋はこの写真の手前）。カプセルホテル区画に宿泊する予定はありません。ノートPCを置きっぱなしにして作業するのも無理ですしね。



## 朝食

8時半に宿を出て会場へとつらつら歩く。爽やかな朝の空気の中を遊歩道を歩いていると会場に着けるのもこの宿を選びたくなる理由です。



会場前の飯屋が普通に日曜もやっていたので入り、今度は70円の朝食セットだけを注文。お値ごろ。

朝食を済ませて9時前に飯屋を出て、もう始まっている青果市場を横目に会場入り。

## 朝の会場

バイヤーブースでトライフォースのダイスセット（220元）を買ったりしつつ、ダブルアップシールド 1900 元にエントリー。正直ちょっと高い。賞品 2 倍でも参加費も 2 倍近いだけだもんな。元が取れるといいな。

今のうちに残りチケットをナーセットのプレイマットに変換するか、と思っただけで完売。ありゃー。昨日のうちにナーセットのプレイマット 2 枚を確保しておいて正解だったが遠慮せずありったけ 150 チケ出すのだった。

店舗オリジナルの**変なプレイマット**とかいらないし、Tシャツも 1 枚でいいし 200 チケは高いよね。さてどうしたものか。



顔見知りのプレイヤーが「台湾ドル余っていませんか」というので 1 万円札と引き換えに 2740 元を渡す（半端なのは財布の中の小銭の関係）。諭吉レートがホテルでは 2500 元、空港では 2800 元だったそうだけど、自分の最終レートがまだよく分からないし暴利ではあるまいとお互い納得。まあ、自分が損をする理由はどこにもありません。

帰国後に ATM 前倒し返済をしたところ、手数料込で 2 万円で 69505 円、1 万円なら 2873 元でしたね。まあ、そんなもんでしょう。

## ダブルアップシールド

シールド参加者は 17 人でした。まあ、人数に無関係の 3 回戦固定です。賞品 2 倍なのでできれば勝ちたいけど、どうでしょうね。

レアの残念さに軽く絶望しつつ白青で組みます。  
 コモンは割とペアも多く、安定しているようだけど、  
 さて、どうなるかな…。

- 《静かな潜水艇》
- 《ポーラスの城塞》
- 《古呪》
- 《ポーラスの壊乱者、ドムリ》
- 《ニヴ＝ミゼット再誕》
- 《時の一掃》

取りレア

Creatures: 16	Spells: 8	Lands: 16
《奉謝の亡霊》	《神聖なる矢》	《ギルド門通りの公有地》
《目的のための殉教者》 *2	《カズミナの変成》	《平地》 *8
《戦地の金切り声上げ》	《ラゾテプの板金》	《島》 *7
《プリズマイト》	《牢獄領域》	
《間に合わせの大隊》 *2	《覆いを割く者、ナーセット》	
《立ち上がる民衆》 *2	《放浪者の一撃》	
《エイヴンの永遠衆》 *2	《時の一掃》	
《鉄の暴漢》	《死者の災厄、ケイヤ》	
《救出のスフィンクス》		
《精鋭護衛魔道士》		
《サヒーリの銀翼》		
《アショクの潜伏者》		

構築デッキ

Round1 サイトウさん 白緑 OO

顔見知りの日本人。

回って勝ち。

ただし向こうのケイヤの除去を板金でかわそうとしたミスプレイあり（かわせません）。

Round 2 Huiさん 白黒赤 xOO

G1 土地が3枚で止まって負け。

G2 序盤で土地が2枚で止まり、たちまちライフ5点まで追い込まれて死を覚悟するも  
 ナーセットで掘って引いたのが《時の一掃》。ここからまくれて勝ち。脳汁が出た。

G3 回って勝ち。

### Round 3 シマダさん OO

チケットはスプリットで早々に合意するも、3-0をしないとバッジあげないよと言われたので、じゃあチケは山分けとして打ちますか、と打ったら勝った。やったあ！400チケもゲット。

サイドイベント**チャンピオン**のバッジ獲得。  
これはいいおまけですね。



## 昼食



ダブルアップシールドは12時半終了。シールド2は14時からなのでエントリーして会場を離脱。お昼にしましょう。

駅の反対側に行き、以前も気に入っていた大衆食堂に入りカレーチャーハンのセット（アイスコーヒーつき）を90円で注文。

うん、普通においしいですばくばく。豚肉とキャベツたっぷりカレー味。この店はいい。

セブンイレブンでアイスを買ってから、かじって会場に戻ります。  
とうもろこしアイス。コーンスープに塩でなく砂糖を入れて固めた感じの味で、コーンの粒入り。  
少し粉っぽいが予想よりはうまい。



## シールド2

まずはレアチェック。

パワーカードはあるけど色が散りすぎ。白緑タッチ青で。悪くはなかったと思いますが人間相手に勝てなかったのでデッキは記録しません。

《ポーラスの城塞》  
《猪の崇神、イルハグ》  
《ヴィトウ=ガジの目覚め》  
《混種の頂点、ロアレスク》  
《復讐に燃えた血王、ソリン》  
《時の一掃》

取りレア

### Round 1 NO SHOW

まあ、勝ち勝ちで。

Mark Teddin さんのブースが、誰もいなかったので、奮発して1300 元のプレイマットを買ってサインを貰いました。



### Round 2 Fangさん 青黒 ××

G1 向こうの先手3ターン目に《夢を引き裂く者、アショク》が出ました。ごりごり。

16枚を削られたすえに倒すと、墓地回収してまたアショクで4枚。今度は速攻で除去して、こちらはそのまま殴って相手ライフ4の、こちらのライブラリー3枚。

次のターンに殴って勝てるかな、と思ったら相手のトップが《戦慄衆の指揮》。相手は3点払って(残り1点)アショクを出して起動。こちらのライブラリーはゼロで負け。

G2 相手のアショクは出なかったが、こちらのクリーチャー事故と相手のドブン除去のビートで普通に殴られ負け。

プライズウォールに人だかり。そろそろ皆が手持ちプライズを全部グッズに変換しているわけですが、どうやらろくなプライズが残っておらず、最後の手段としてのパックすらも底が見えてきたので**取り付け騒ぎ**の様相を示しているらしい。ハンズまで交換作業を手伝っている始末。このため自分も慌てて並び360チケを「灯争大戦」中文版の1箱に変換し、さらにバラの270チケも27パックに変換する。

### Round 3 Hsiaoさん ID

IDに合意し、2人とも60チケを貰って終了。

賞品パックが尽きる心配もあったので、遊びでプレイすることもなく、その足でプライズウォールに向かい、6パックを貰って終了。

## 会場離脱

16時半。当初の予定では18時からのシールド3を遊んでしめかなとも思ったのですが、さっきの2回戦の負けっぷりに心が折れたのと、何よりここでチケを稼げても最悪チケの使い道がなさそうなので離脱して観光へ行くことにしました。この時間なら19時までの園田健一先生の原画展（そういうものをやっていたのです）にも行けます。

そこで会場を一回りして、ジャッジに挨拶をしてから17時には会場を離脱。

これで自分のMF台北は終了です。楽しかったあ！ やはりきて良かったですね。

「灯争大戦」69パックなど荷物も多いのでいったん宿に戻り、荷物を置きます。

## 園田健一原画展

宿を出て17時20分にタクシーに乗り、目的地のWrong Galleryのサイト（※1）を開いて、住所を運ちゃんに見せると、普通に伝わったようでした。昨夜歩いた林森北路を南下して、ほどなく到着。タクシー135元。さて目的地は…と思って周囲を見回したら、目の前でした。さっそく入店。



※1 <https://www.facebook.com/456402951120806/>

展示内容は、店舗2階のギャラリーに白黒原画（非売品）とカラー複製原画（5000元+）が並べてある感じです。

まあ、こんなもんでしょうね。良かったです。

1階の店舗部分では、園田健一先生の同人誌も販売しておりました。もちろん僕たちがいつも

**コミケで買える**ものです（笑）。

決して広くはないので、20分くらい鑑賞してから店を出ました。



## 光華商場



原画展も堪能したので、それでは当初の予定に従い饒河街観光夜市に行って夕食にして今夜はしめようかな…とも思ったのですが、MRTの最寄り駅を探すべくグーグルマップを開いたら現在地のすぐ近くに光華商場があることに気が付きました。

光華商場はでかいビルに多くの電気屋が入っているビルで、秋葉原に行くようなものですね。秋葉原と同様にオタク向けのディスプレイも多いです（笑）。

数年前に一度訪れましたが、今日も特に目的はありません。てくてく歩いてほどなく到着。そうだワイヤレスマウスを買っておくか…と気が付いたので（もう明日帰国ですけど）、店を回ってほどなくゲット。268元。

ああそういえば多分モバイルバッテリーもたぶん昨日の店よりだいぶ安く売ってるよな…と気がついたものの、それを知っても悲しくなるだけなので探しません（笑）。



何しろ「台北の秋葉原」なのでオタク向けの怪しい店などもあり、日本の漫画を置いてある古本屋や、海賊版の DVD を置いている店もありました。

日本の男性向け漫画同人誌を何千冊もスキャンして DVD に収めているらしい「これはひどい」としか言いようのないシロモノもありました。

一通りウインドーショッピングを楽しんで、フードコートのある一階に戻ると 18 時半。今夜の夕食は饒河街観光夜市にてとる想定だったのですが、そろそろ腹も減ってきたし、別に夜市の夕食にこだわることはないか…ということでここで夕食にすることにします。黒胡椒の牛ヒレ肉+卵をオーダー。

店員が「チョットカライデスヨ」と言うもウェルカムで 110 元を支払う。さて…うん、それほど悪くないです。たっぷり肉野菜炒め。

しかし悪くはないもののこれまでのように「うめえ！」と言いたくなるほどでなく、加えて単純に量が多いので「これで腹を満たすのはもったいないな…」と思いつつ完食。スープは残しました。



19 時に光華商場のビルを出ると、そろそろ薄暗くなってきました。そういえばあっちの裏手に日本の AV の海賊版ディスクを売っている店があったな…ということで足を向けてみると、ありました（笑）。さっそくちょっと覗いて（中略）しかし正直、もうネットでいくらでも無修正 AV が無料で観られるこの時代に、まだ店があったんだなあ。

忠孝新生駅までてくてく歩いて MRT に乗り、松山駅まで移動しました。

## 饒河街観光夜市

19時40分には饒河街観光夜市に到着しました。ここは東西に走る1本の大通りに沿って露店が開いている感じのようでした。駅を出ると東の入口に着いたので、まずは北側を西に歩き、一番西に着いたら折り返して南側を東に歩きました。士林夜市のように現在どこをどっちに歩いているのか分からなくなりそうなことはなく、シンプルに見て回れるのはいいですね。

内容はまあ大差なく、楽し気に色々な店が展開しています。7割は食べ物や飲み物。ただしこの結果、今の満腹な自分にはこれらはそれほどそそらない結果に。やはりさっき光華商場で夕食にしたのは失敗で、空腹の状態で来るべきでした…残念。それでもいささかの飲食物をつまみ、Tシャツを買ったり（銀ラメ入りでそれほど安くもなく2枚で500元）、人形劇を見たりした後に松山駅まで戻り、20時半に離脱。



## 亜太三温暖



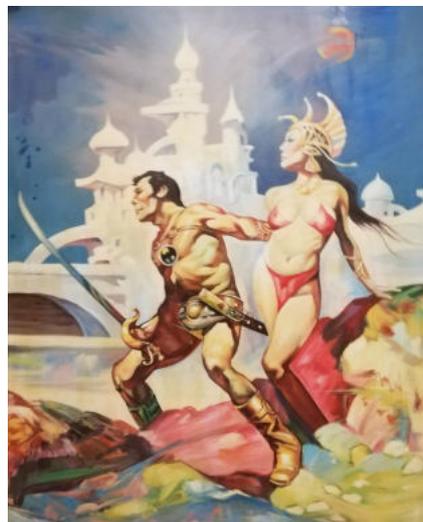
まだ21時前であり宿に戻るには早いな、ということでここは汗を流しに「サウナ風呂」に行くことにします。サウナの可能性は考えていたので予め調べておいたのですが、サウナでぐぐると上のほうに出てくる「亜太三温暖」が帰りがけの駅そばにあるのでした。ここはどうやら泳げるくらい広い風呂もあるらしく、それは自分としてもやってみたく。まあネット情報によればここは「昔あった風俗サービスがなくなってしまっ

いた」ということで**低評価**（笑）を受けていたのですが、自分としては別に構いません。今夜も足マッサージの選択肢もありましたが、やはり広い風呂は憧れポイント。

そこで台北小巨蛋（台北アリーナ）駅で降りて、台北アリーナの建物を横目に南京東路を西へと進みます。2014年に台北アリーナで開催された「艦これ」の同人誌即売会のため、マジックのイベントでもないのに台北に来てこの近くの宿を取ったことを思い出しました。次第に頭の中でつながってくる台北市のスポット。

つらつら歩いて21時40分には目的地に到着。

角の大きいショッピングモールに入り、エレベーターを15階まで上ると目の前が入口。半裸美女のフラゼッタの壁画がエロ△の期待をかきたてていい感じ。



壁に値段表などがデカデカと掲示されてはいないものの、カウンターにつくなり鍵付きのリストバンドを手渡されたので「ま、いいか」と思いつつ受け取って奥へ。

靴を預けたうえ、案内のままロッカールームへ。店員がロッカーのカギを開ける。ここで全部脱げということだろう。全裸になって、眼鏡以外はすべてロッカーに入れる。スマホも持ち出せば館内撮影もできそうな感じ（しません）。店員から特に女の子を勧められるわけでもなく、ロッカールームから大浴場へ移動。…まあ、ちょっと広めのただの銭湯ですね（笑）。洗い場で全身を洗ってから広い湯船につかります。足は立つもののそこそこ深い湯舟をすいーっと泳いで奥に行き、ジャグジー。うん、きもちいー。やっぱり来て良かったなあ。風呂は命の洗濯だ。さらにサウナに入って汗を流し、無理はせずこわごわと水風呂に入ったりします。

実は筆者は心臓の手術をやっている関係から、10年前に医者に「サウナに入っているんですか？」と相談したときには怒られていたりもするのですが。

どうやら「風呂」を一通り堪能できたので、さらに奥に進んで身体を拭いて、バスローブ上下を着て、そのさらに奥の休憩室へ。

休憩室に入ってジュースを飲むべくフリードリンクのサーバーに手を伸ばすなり、50歳くらいに見えるおばちゃんが近寄ってきて「スペシャルマッサージ？」と聞いてきました。

**あるじゃん風俗**サービス。ここで頼めば呼んだ若い女の子と奥の別室に入るのだろう。

利用する気はなかったものの試しに「いくら」と聞いてみたら「45分4500元」と返事。

**高えよ。** そんな金は財布に残ってないよ。いや安ければ利用したのかよという話ではあったのだが（笑）。とりあえず断るも、おばちゃんは「スペシャルだよスペシャル」としつこく勧めてくる。うん知ってる。重ねてノーサンキューと手を振って追い返してから、ドリンクを飲んでくつろぐ。

その後、休憩室をぶらぶらと歩き置いてある雑誌を眺めたり（表紙が水着の女の子だったけどただの週刊誌でした）、PCを操作してXVIDEOも普通に見られることを確認したり、「MTV」と掲示のある二階に上がったらどうやら仮眠室のようで、ほぼ無人の薄暗い中をリクライニングシートに座ったら思わずそのまま寝落ちしそうになったりして、そろそろいいかなと思って離脱にかかります。

どこかにある筈の「やり部屋」への入り口は発見できませんでした（笑）。

フロアをぐるりと一周して来た道を通らずに脱衣所に戻って、リストバンドの鍵を差して回すもロッカーが開きません。あれ、と思ってガチャガチャとやっていたら店員が寄ってきて別のキーを別の鍵穴に指したら開きました。なるほどそういう仕掛けか。おそらくは**やり逃げ防止策**なんでしょう。

着替えてバスローブを回収箱に放り込み、忘れ物がないかロッカーを二度確認して出ます。出たら廊下に自分の靴が並べてありました。なるほどさっきロッカーを開ける時に番号をチェックしていたわけですね。たぶん会計も済ませているのでしょう。

そしてフロントでリストバンドを渡す。明朗会計600元。まあ、フリードリンク付きのサウナ大浴場時間無制限利用し放題なら、やや高めではあるもののありだとは思いますが。ともあれさっぱりして22時に退店。さすがに今夜はもう足マッサージも不要。

MRTに乗って民権西路駅に戻って、22時15分にはコンビニに寄ってから宿に戻ります。火照った身体にキンキンの冷房が今夜は心地よい。買ってきたアイスを食べます。

もうシャワーは不要なので今日のぶんのマジック日記を書いて寝るかなと思ったものの、さすがの風呂の効能で猛烈な睡魔が襲ってきたので、抗わずに寝ることにしました。歯を磨いてからベッドに横になり、23時半には沈没。

## 2019年6月10日（月） 屋台の朝食

4時半に目が覚めてしまいました。ま、睡眠は足りているでしょうからいいかとばかりに置き、トイレと歯磨きを済ませてから、昨日のぶんのマジック日記を書き始めます。

マジック日記を書くと6時。うん、じゃあ朝食にしましょうかね。

天気予報では今朝は雷雨とか言っていたのですが、出てみたら幸い雨は降っていません。雨だったら濡れずに移動できるコンビニ飯で済ませようかと思ったのですが、それではと東に移動します。電器屋の向かいにバーガーキングがあったのに気がついていたのです。

と思って移動したら閉店中。スマホで見たら、どうやら7時開店らしいです。仕方ないねと思っていったん宿に戻って荷造り。しかし無駄足でもありませんでした。

バーキングの向かいのセブンイレブンで「にんじんりんごカルピス」が発見できたのです。台北でこれまで全く見なかったので「もしかしたら台北からは撤退？」したのかなとも思ったのですが。嬉しくて2本40円で買い、まずは1本を部屋で飲み飲み。



荷造りを進めるうちに7時になったので、再度宿を出てバーキングまで移動。やってない。あれれ。スマホで再度よく調べたら支店ごとに営業時間が違い、ここは8時からでした。なんてこった。

もはや空腹も我慢できなかつたので、別の朝食を探すことにしました。



グーグルマップでは近くに「晴光市場」というものがある（よく知りません）ので、そこに行けば朝食にありつけるだろうなと思って移動したらビンゴ。晴光市場はまだ開いていませんが、朝食の屋台がたくさん並んでいました。

一回りした後に、お粥の屋台に行き、注文。  
並んでいる具を指さしたらトレーを渡されます。  
自分で取れということらしいので適当に揚げ物や  
青菜を取って目玉焼きも取る。あとは「お粥」を  
注文し、言われるままに60元を払います。



なみなみとつがれたお粥を受け取り、  
後ろのテーブルに座ります。では、

いただきます。

最初にお粥だけを一口すくって口に運び、次に具材をかじって一緒にお粥を一口した後に、  
残りの具材を全部お粥の中に突っ込んで、卓上に置いてあった刻み唐辛子も適当に多めに  
放り込み、かき混ぜて食べる。**うめえ！** バーガーキングでなくこっちにして心から  
良かったと思いました。これですよこれ。

あとで調べたら晴光市場自体も、そこそこ楽しげな観光スポットであったようなので、  
次の台北旅行では訪れようと思います。たぶん宿は同じここになるだろうし。

## 荷造り完了

お粥を完食して7時半。別の屋台で売っていた練り物もうまそうであり、まだ腹の中に  
少々入るものの、今日は4時間後にうなぎを食べる予定だったので、ここは腹は減らして  
おこうということで宿に戻ります。

荷造りを続け、やはり来たときのバッグには入りきれないので増えた荷物の分をズダ袋に

移動して再度の詰めなおしを行います。これで帰りは荷物を「機内持ち込み」だけでなく預けることも確定したので、なるべく手荷物は軽くすべく、リュックの中身をできるだけ旅行鞆やズダ袋に詰めているとリュックの中から日本でいくら探しても見当たらなかったはずのモバイルバッテリーを発見します。なんてこった！土曜日に880元も出して買うことはありませんでしたよ…とほほ。いささか気落ちしつつ、8時には荷造りも終了。これでもういつでも宿を出ることができますが、11時のうなぎ屋の開店までやることは別がない（この大荷物を引いて移動したくもない）ので2時間ほど部屋で暇を潰すことにしました。ノートPCでアリーナを起動して遊びます。

## 大倉久和大飯店

10時にチェックアウトしてから宿を出て、タクシーを拾って大倉久和大飯店（ホテルオークラ）まで。運転手にスマホのサイトの写真と住所を見せたら普通に通じます。ここでは女房のリクエストでホテルの敷地内の「The Nine」というショップで売っているヌガーを買うことにしたのでした（※1）。

※1 <https://tabizine.jp/2019/02/08/233736/>

車中でグーグルマップを見つつ正しい方向に進んでいるか確認すると、ぐるりブロックを大回り。台北は一方通行の関係でしばしば遠ざかるようなコースを取る可能性があり、今回もホテルの正面入り口に車を横付けするためでした。無事に大倉久和大飯店に到着し、ケースを引いてホテルのドアをくぐるとボーイに出迎えられたので「ああチェックインじゃないです」と断った後に再度声をかけ、スマホを見せて「この店を探してるんですが」と言うと即座に教えられます。「The Nine」は外からも入り口がある、ホテル正面の左にありました。





目的のお洒落なヌガー詰め合わせは普通に並んでいます。記事にも載っていた 32 個 500 元のものだけではなく、64 個 980 元や 16 個 300 元のものもあります。我が家のお茶うけにするだけなので 32 個入りを購入。もう現金の手持ちが 3000 元を切っていたので、クレカで購入。ミッションクリア。

ではこの近くにある筈の 11 時開店のうなぎ屋に行くか…  
と調べてグーグルマップで「うなぎ専門店」を探しても、

その店が出てきません。あれ？と調べてさらに調べるとその店は**月曜休み**であることが判明しました。がああん。他の店は軒並み 11 時半の開店です。

ここでさらに 30 分遅れても 15 時の飛行機に乗り遅れることはよもやあるまい、と判断して別のうなぎ屋「梅子」に行くことにしました。これは普通に近くに見つかったので、経路に従い徒歩で移動開始。

## ファミマで時間潰し

目的の料理店「梅子」はほどなく発見できたものの、まだ開店まで 1 時間あります。どうしたものかとしばし思案。

ここはまたしても林森北路なので（だから日本人向けうなぎ屋多数があるんですが）、いっそ 1 時間を風俗マッサージで潰すのはありかも、と調べて近くを探しても、どうもマッサージ屋も 11 時に開店の店ばかり。それから足裏コースを 30 分頼むのでは、かえって開店するなり入れません。



このため近くのファミマに入り、ここのイトインで小1時間を潰すことに決定。座席に荷物を置いてカップのアイスクリームをレジで買って、それをのんびり食べたりネットをしたり「アルペジオ・リバーズ」で遊んだりして時間を潰します。

## 待望のうなぎ

あとは店の前で待機しようと11時20分にファミマを出て店に移動すると、すでに店は空いていたので入ります。11時30分になってないものの「もう、この500元のうなぎランチ頼んでいいですか?」と言って快諾されたので、座って注文。客はぼく1人。



専門店とはいえランチなだけに、これから裂いてじっくり焼くわけでもなさそうで、10分後には待望のうなぎ重が出てきました。やったー！おいしく頂きます。

他の客もいないので店員が話して来ます。これを食べたら空港に行くんですよと言いつつ、じっくりのんびり味わいはできずにそそくさと掻き込む。でも**おいしー**。

サービスの杏仁豆腐をいただいて終了。

林森北路でありこの店構えからも当然クレカが使えるかなと思ったら現金のみ。いいけど。サービス料込みの550元を支払って終了。ごちそうさまー！

12時45分。店を出てタクシーを拾いにかかります。少し雨がぱらついていますが、もう関係ありません。ところが通りでタクシーに声をかけようとする所で、店員が走ってきてスマホを手渡してくれます。店内にスマホを忘れていたのでした。タクシーをすぐ拾って飛び乗っていたらアウトでしたよ。あぶない。店員には感謝。

## 空港へ

タクシーに乗り「台北ステーション。MRTエアポートエアポート」と連呼。まあ普通に通じたようです。12時、MRT 空港線台北駅に到着。さすがにもう大丈夫でしょうね。

自動販売機で空港へのトークンを150円で買い、ホームへ。

その5分後にはホームに来た空港行きに乗り、その10分後には発車。

12時50分には第1ターミナル駅に到着。やっぱ早いよねMRT。もう空港から市内へのバスを選択するのはMRTが動いていない早朝深夜だけだ。早く24時間運行して欲しい。

MRTを降りてエレベーターで出発階に移動すると目の前がスクートのカウンターでした。すでに形成されている列に自分もただちに並んでチェックイン手続き。例によって「同じ券を2枚買ってしまったのだが」「じゃあこちらの予約番号のほうで旅券を発行しますよ」と言う会話を交わしたのち、今度はズダ袋と合わせ荷物2個を機内に預け13時20分、チェックイン終了。



身軽になったのでセキュリティとイミグレに向かいます。

10分ほどでセキュリティを通過して、いささかの列に並びつつその10分後にイミグレも通過。イミグレが自動式になっておりパスポートのスキャンと2指と顔写真で通過。

13時50分にはB2ゲートに到着。あとは1時間待つだけです。ゲート前で自販機の飲料を買ったり、リクライニングシートで待ったりして時間を潰します。これでどうやら今回の台北旅行もおしまいですね。まあ、また来年か再来年には来るとは思います。

14時半には搭乗を開始し、定刻の15時には出発。さらば台北。楽しかったですよ。

## 最後のトラップ

機内ではうつらうつらしていたくらいで、書くべきことは特にありません。そして19時15分、成田空港に着陸（ここから日本時間で記します）。

19時半にはイミグレを通過し、荷物も割とすぐに出てきて19時40分には回収。

やや税関の列があって面くらうものの、それでも5分後には税関を通過。

空港を出て京成電鉄のホームへ。

19時59分発のアクセス特急に乗り、20時40分には青砥駅に到着。

やれやれ、あとはタクシーで帰れば我が家だ…と思ったら、雨が降っており、その関係でいつもは駅を出るなり拾える駅前のタクシー乗り場は**長蛇の列**。一瞬、気が遠くなったものの、気を取り直して傘を鞆から取り出し自分も雨の中を立って列に並びます。



青砥駅前にはタクシー会社のサイト（※1）にこんなこと（↑）を書かれてしまうように

「公式」タクシー乗り場というものはなく、駅を出た図のところでたいていはタクシーが待機しているのでこれに乗っていくというシステムが確立しています。公式な乗り場ではないので、たまに後続車が待つこともありますが、たいていはぼつりぼつりと流しが寄るだけの場所。さらに言えば高架下ではあるものの、まともな屋根もありません。

※1 <https://taxiye.net/2018/09/06/post-2760/>

この結果として、今日は雨の中を長蛇の列の中をたまにタクシーが来ると1人〜が乗って列が動く状況になりました。さらに今日の東京は**記録的な寒さ**。

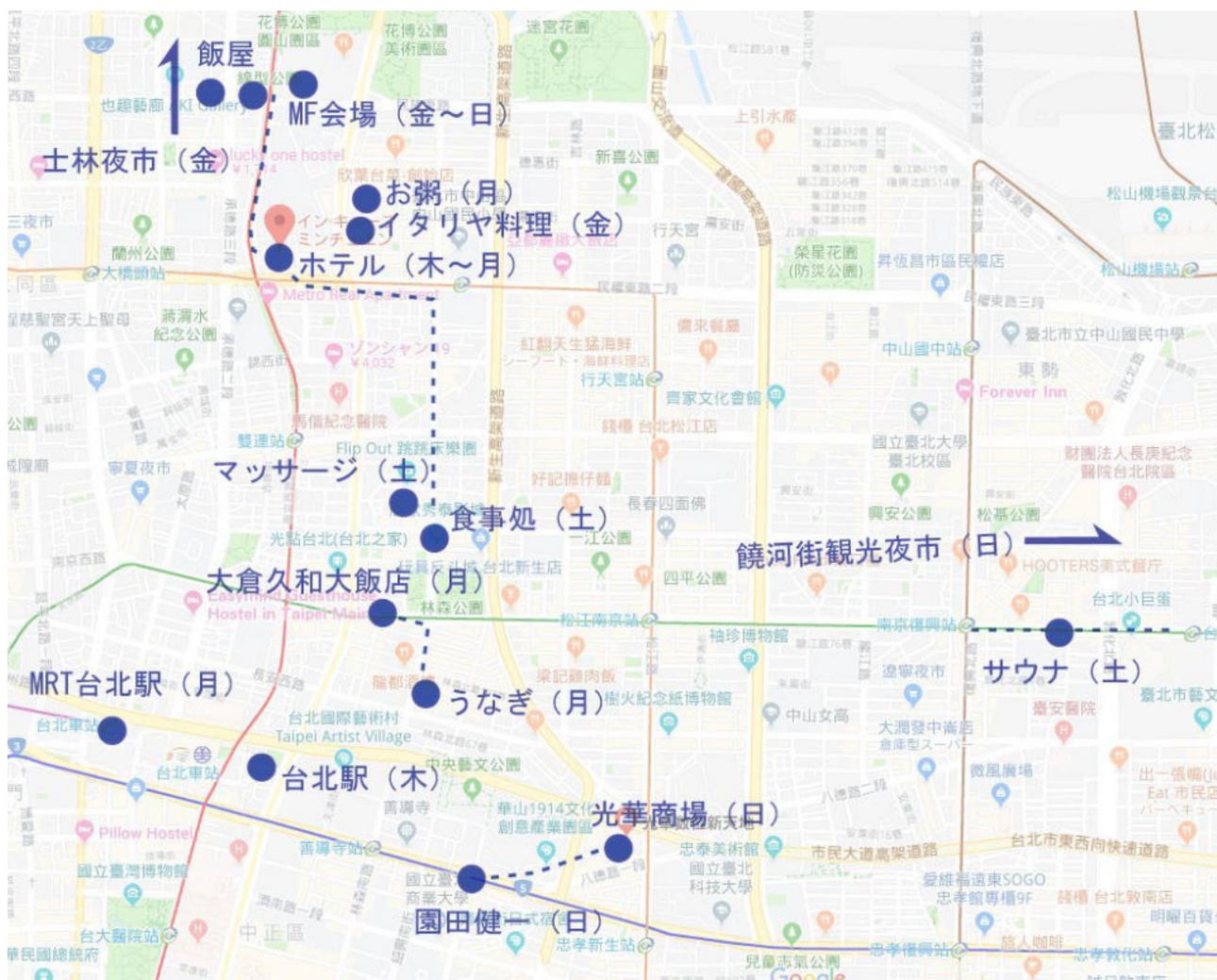
この中を、傘をさしてはいるもののわずかに濡れつつ**半袖**で待つのはかなり苦行でした。とりあえず自宅に電話して女房に「間もなく帰れるけど、風呂沸かしておいて」と依頼をかけたうえで、さらに10分ほどを待ってやっと自分の番になりました。

21時に我が家に帰宅し、まずは風呂に入ってから夕食をいただくと、やっと落ち着いてきました。幸いにこの日に風邪を引いて翌日の会社に響くようなこともなかったものの「お家に帰るまでがMFです」という言葉を思い出さないわけにはいかず、これで今回のMF台北も無事に終了したと言えます。

(完)



今回訪れた主なスポットは、こちらになります。



Copyright:Google

## MF 台北 2019 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2019年8月9日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（ひろじ）について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）